

令和5年度 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、料率改定の影響などによる自動車保険の増収などにより、令和4年度に比べ0.1% (122億円) 増加して9兆1,316億円となりました。

(2) 正味支払保険金、損害率

正味支払保険金は、交通量回復に伴い自動車保険の支払いなどが増加しましたが、国内の自然災害の減少に伴う火災保険(地震含む)の支払いの減少などもあり、令和4年度に比べ△1.0% (△530億円) 減少の5兆3,300億円となりました。

損害率は、令和4年度に比べ△0.6ポイント低下して64.3%となりました。

(3) 事業費、事業費率、コンバインド・レシオ

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、令和4年度に比べ1.1% (149億円) 増加して1兆3,444億円となりました。

諸手数料及び集金費は、令和4年度に比べ△0.7% (△108億円) 減少して1兆6,350億円となりました。

これらを合計した事業費は令和4年度に比べ0.1% (41億円) 増加しましたが、事業費率は、正味収入保険料の増収により令和4年度と同じ32.6%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、令和4年度に比べ△0.6ポイント低下して96.9%となりました。

(4) 保険引受利益

以上の増減益要因に、その他の保険引受収益および保険引受費用を加減算した保険引受利益は、令和4年度に比べ54.7% (625億円) 増加の1,769億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、有価証券売却損益(売却益一売却損)の増益(1,600億円)や利息及び配当金収入の増加(1,342億円)などにより、令和4年度に比べ30.5% (2,230億円) 増益の9,548億円となりました。

3. 経常利益・当期純利益

経常利益は、資産運用粗利益の増益などにより、令和4年度に比べ36.6% (2,807億円) 増加の1兆473億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した当期純利益は、令和4年度に比べ78.6% (3,942億円) 増益の8,958億円となりました。

4. 総資産

総資産は、令和4年度末に比べ10.3% (3兆2,648億円) 増加して35兆138億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、29社とも法律で求める水準を超えており、経営の健全性について問題ない水準となっています。

以上

注意: 下線部分は2024年9月17日に修正しています。